

令和7年度 事業計画

一般財団法人MOA健康科学センター

I. 基本的考え方

現代社会では感染症をはじめ生活習慣病や精神疾患の増加、社会的孤立、震災や災害による心身のストレスなど多様な健康課題が顕在化しており、西洋医学の治療中心では対処が難しくなっている。令和6年度の厚生労働白書では、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指してスタートした健康日本21(第三次)に基づき、国民一人ひとりの健康への取組みの基盤として、社会とのつながりや心の健康の維持・向上などの社会環境の質の向上への取り組みが必要であることが示された。

こうした課題に対し、治療中心の現代医療に、患者へのケアを積極的に取り入れていくことで、心の健康も大切にした医療の推進が必要と考える。その具体的方法である統合医療による患者を中心とした疾病の治療とケアを目的とした「医療モデル」と、患者の健康を地域コミュニティや社会全体で支えていくことを目的とした「社会モデル」の両方が補い合い人々の健康へ寄与することが期待される。

令和7年度は、人間の備える自然治癒力を生かす医学及び健康法を利用して健康寿命の延伸を目指し、東京療院をはじめ全国の健康増進施設・全国の医療法人・関連団体との連携を軸に、人間を身体・心・スピリチュアル・社会という側面から総合的に捉えた岡田式健康法(岡田式浄化療法・美術文化法・食事法)を含む統合医療や農医連携の調査研究を多職種と連携して行い、人々のライフスタイルの改善や健康意識の向上を目的に、講演会・セミナー及び健康度測定などを実施し病気予防と健康増進に取り組む。

以上の事業を通じて、ケアを大切にした医療を推進し、本来の医療の目標である健康保持、病気予防、健康長寿を可能にする「新しい医学」の構築に貢献する。そして、家庭や地域社会における健康づくりを支援しつつ、平和で幸福な社会の実現に向けて「心身ともに健康なまちづくり」に取り組んでいく。

II. 具体的事業

1. 調査研究事業

上記の基本的考え方に基づき、統合医療の「医療モデル」としての療院(健康増進施設)と「社会モデル」としてのMOA健康生活ネットワークに関わるエビデンスの構築に貢献していく。

(1)は、岡田式健康法に関する統合医療的な調査研究を記載する、(2)は、財団として社会的な価値を高め、将来岡田式健康法の調査研究につながる研究テーマについて記載する。(3)は、上記研究の成果を報告し、岡田式健康法や療院について社会から信頼を得ていくための、論文

投稿や発表を行う学会名を示す。(4)では、調査研究の充実を図るための委員会活動を記載する。(5)では、統合医療に関連する情報収集活動や人材交流について示す。(6)では、当財団の社会化に向けて連携して活動する国内外の大学研究機関、学会等を示す。

(1) 岡田式健康法に関わる研究

① 医療モデル

- 1) 各療院と連携した症例作成(東京療院、奥熱海療院、金沢療院、札幌療院など)
- 2) 症例を収集する仕組みの開発(東京療院と共同研究)
- 3) 岡田式健康法のライフスタイルと心と体のストレスとの関連について(各地の療院や MOA 関連企業と連携した共同研究)
- 4) 岡田式健康法が生活習慣病患者の動脈硬化に及ぼす影響(島根県の児玉医院との共同研究)
- 5) AI を用いた血液検査データによる認知症リスク評価と予防に関する研究(東京療院、脳と心の健康科学研究所と共同研究)
- 6) 岡田式健康法の姿勢の改善に関する研究(東京療院他との共同研究)
- 7) PTGと岡田式健康法及び信仰とスピリチュアリティに関する調査研究(日大と MOA との共同研究)
- 8) お花を利用した心理療法の評価法に関する研究(東京療院と共同研究)
- 9) 美術文化法に関する研究(名古屋療院との共同研究)
- 10) 自然農法産物の摂取がヒト腸内細菌叢に与える影響に関する研究(農業環境健康研究所との共同研究)

② 社会モデル

- 1) 相談シートを活用した地域コミュニティとの連携の取り組みについての研究(東京療院への支援)
- 2) 社会モデルとしての MOA 健康生活ネットワークに関する調査研究(検討中)
- 3) 岡田式健康法を取り入れた通所介護事業所の取り組みについての研究(広島介護事業所)
- 4) 有機栽培の技術指導付き市民農園が利用者の主観的な健康に及ぼす影響の調査(農業環境健康研究所との共同研究)

(2) 統合医療の研究

① 医療モデル

- 1) タイ式マッサージに関する研究(タイ国衛生省)

(3) 学会発表および論文などの投稿

① 学術誌への論文投稿

② 編集委員会による研究報告集の作成(29 巻の作成と発刊)

③ 日本統合医療学会、日本生理心理学会、日本応用心理学会、日本有機農業学会

(4) 研究を推進するために必要な仕組みの充実

- ① MOA関連の研究に関する審査の充実
- ② 研究推進委員会・小委員会の充実
- ③ 倫理審査委員会と利益相反の管理に基づく研究の充実

(5) 統合医療に関する情報収集および人的交流、人材の育成

- ① 学会・シンポジウム等への参加
- ② 文献調査とデータベース化
- ③ 人的交流および人材の育成

(6) 当財団の社会化に向けた研究機関あるいは各団体等との連携

- ① タイ国文部省及び衛生省との連携
- ② ヴィッテンヘルデッケ大学との連携
- ③ いのちの研究会・信仰をもつ医療者の連帯のための会開催のための協力
- ④ 各種学会日本統合医療学会、日本応用心理学会、日本生理心理学会、その他学会との連携と支援
- ⑤ 科研費関連の配分機関や研究助成団体・クラウドファンディング等からの研究費獲得の検討
- ⑥ 共同研究を行っている機関からの研究費の獲得の検討

2. 新しい医学創成に向かうための研究成果の普及、広報活動の事業の充実

MOA や目的を同じくする行政及び健康関連団体大学などと協働しながら、賛助会員事業や健康チェック・セミナー、有料資料の頒布等による経済的基盤の充実を図り、岡田式健康法の研究成果を分かりやすく社会に紹介する情報の発信に努める。

(1) 賛助会員

現会員への健康度計測や情報提供のサービス、講演会・セミナー等を通して、財団の趣旨・目的をご理解いただき賛助会員の拡大をめざす。そしてホームページの充実やSNSの有効活用、また講演会などの開催を通して、外部（一般の個人、団体）からの賛助会員入会に取り組んでいく。

(2) 「これからの医療とまちづくりシンポジウム」の地方開催支援（広島、千葉、新潟、等）

(3) 社会に知らせる取り組みと資料の充実

- ① 会員誌と資料（冊子、DVD、パネル等）による情報提供
 - 1) 研究報告集の活用と外部団体・機関・図書館等への登録（送付）
 - 2) 会員誌「21 世紀の健康科学」65 号の発刊
 - 3) 会員向けの資料（ニュースレター「すこやかだより」）の発行年 2 回
 - 4) MOA発行の情報誌との連携
 - 5) MOAの資格制度（浄化療法、食育、美術文化等）への情報提供

- 6) 有料資料(冊子、DVD等)の作成と活用
 - 7) 外部雑誌等への研究記事の作成と活用
 - ② インターネット配信の充実
 - 1) ホームページの更新と充実(MOA関連団体との連携を図る)
 - 2) YouTube およびSNSの更新と充実
 - 3) 研究報告集の電子ジャーナルによる発信
 - (4) 講演会、研究会、セミナー、健康度測定の実施
 - ① 教育機関等での実施
 - 1) 神奈川歯科大学大学院
 - 2) 公益財団法人農業・環境・健康研究所自然農法大学校
 - ② 各療院・地域と連携したセミナーと健康度測定の実施
 - ③ 法人会員に対するセミナーや健康度計測の実施
 - ④ 行政や各団体等と連携したセミナーや健康度計測の実施や検討
 - ⑤ 寄付金収入を得ていく
 - (5) 新規事業
 - 事業基盤の充実拡大を目指した新規事業の検討
3. 法人管理に関する事業
- (1) 理事会ならびに評議員会の開催と運営
 - 理事会ならびに評議員会を開催し、その決裁のもと、事業計画に基づいて事業活動に取り組む。
 - (2) 経常業務と施設の維持・管理
 - 法人運営に必要な経常業務に取り組み、各施設や什器備品などの維持・管理につとめる。
 - (3) 職員教育の推進
 - ① 法人運営及び事業推進に必要な職員の資質の向上を図る。
 - ② 社会と共に取り組むために人権尊重の精神の涵養を目的とする教育を進める。

以 上